

## 枝打ちで森の大切さ実感

金沢自然愛護少年団

金沢生産森林組合創立50周年を記念した植樹・育樹祭は11月28日行われ、金沢自然愛護少年団の児童や教職員、県・市職員、同組合役員など90人が参加しました。森林を身近に感じ守り育てることの大切さを体験してほしいと同組合が企画したもので、児童は校庭にヤマボウシ3本を植樹した後、10年生のヒノキ6000本が植えられた同組合林で枝打ちに挑戦しました。

真剣な面持ちで児童らは手のこを使い、身長ほどの高さまで次々に枝を払うと、「明るくなったね」と笑顔を見せ、育樹の大切さを実感していました。



「立派に成長しますように」と願いを込めて枝を払いました

## 軽可搬ポンプなどを整備

千厩町婦人消防協力隊

千厩町婦人消防協力隊(村上良子隊長、隊員195人)は(財)日本消防協会が「宝くじ助成金」を財源に行っている「女性消防隊による安全で災害に強い地域づくり推進事業」の助成を受け、軽可搬ポンプ、プロジェクターなどを購入整備しました。

村上隊長は、「今までは火災予防を中心に活動してきましたが、これを機に、初期消火活動も行えるよう研修会などを開催しながら、より一層防災意識を高めていきます。さらに、地域住民との連帯を深め、災害に強い地域づくりに役立てていきたいです」と決意を新たにしていました。



新しい資機材を前に防災への決意を新たにす隊員



産卵前の親鮭をそと放流する子どもたち

## 地域の川を清らかに

19区自治会で親鮭を放流

河川の清流化に取り組む第19区自治会(畠山英一会長)は11月25日、地域を流れる津谷川に親鮭を放流しました。自治会員や関係者ら約100人が参加し、隣接する宮城県本吉町の小泉川鮭増殖組合の協力で、産卵間近の雄と雌合わせて23匹を放流しました。この活動は今年で16年目。集まった子どもたちはサケをそと抱えて川に放し、元気に泳ぎ回っている姿を見守っていました。

畠山会長は「この取り組みをスタートさせた平成4年、サケが初めて泳ぐ姿に感動した。その時の喜びをこれからもみんなで分かち合いながら、清流化を継続していきたい」と話していました。



真心のこもった「うぐいす便」の出発を祝いテープカット

## ふるさとの味を届けます

大東うぐいす便発送式

大東観光物産協議会(千葉政吾会長)による「大東うぐいす便」の発送式は12月7日、摺沢のJ Aいわい東・東部園芸センターで行われました。ふるさとの味と香りが詰まった第1便発送を前に、関係者によるテープカットが行われ出発を祝いました。

「大東うぐいす便」は、乾しいたげやリンゴなど大東地域の特産品の詰め合わせを全国に届けるもので、今年は933個が発送されます。

千葉会長は「これからも、大東地域ではぐくまれた、真心のこもった特産品を皆さんに広く普及させていきたい」と力強く抱負を述べていました。



元気いっぱいのダンスに盛んな拍手を送るお年寄り

## 手作りの飾りで新年祝う

ミニ門松作り教室

川の大楽校講座「いきいきシニアライフコース」と川の楽校(川崎地域の小学生対象)の交流事業「ミニ門松作り教室」は12月15日、川崎公民館で行われました。NPO法人アートで明るく生きるかわさきの佐藤豊子さん、千葉勝枝さんの指導の下、31人が参加し、高さ約40cmほどのミニ門松をそれぞれ一つずつ作りました。

姉妹で参加し、門松作りは初めてという千葉愛さん(薄衣小5年)、彩花さん(同1年)は「わらが硬くて切るのが難しかったけど楽しかった」と満足げな笑顔。一足早く福の神が訪れたかのような様子でした。



シニアの皆さんの手ほどきで門松づくりに挑戦した小学生

# まちのトピックス

地域で開催されたイベントや身近なできごとを紹介します

in Ichinoseki

## かわいいダンスと歌で交流

長坂保育園児が東山荘を訪問

長坂保育園(鈴木くみ子園長、園児93人)と養護老人ホーム東山荘(菅原篤夫施設長、入所者70人)の交流会は12月11日、東山荘で催されました。4歳児と5歳児39人がこの日のため一生懸命に練習したダンスや歌を披露すると、お年寄りたちは元気いっぱい踊る子どもたちの姿に目を細め、大きな拍手を送っていました。

発表が終わると、お年寄りの代表がサンタクロース姿で登場し、子どもたちに一足早いクリスマスプレゼントを贈呈。にっこりとうれしそうな子どもたちは、小さな手でお年寄り一人一人と握手をしました。



色鮮やかな照明を浴びた踊り手が華麗な演技を披露しました

## 華麗な演技に大きな拍手

歳末助け合い市民芸能まつり

今年で23回目を迎える歳末助け合い市民芸能まつりは12月1日、一関文化センターを会場に催され、41団体395人が出演しました。

ステージ上で華やかな着物や衣装を身にまとった踊り手たちは、しっとりとした時に力強く観客をそれぞれの世界へと引き込みました。赤荻小や山目小の放課後児童クラブの子どもたちも出演し、謡曲や一輪車を披露。少し緊張しながらも元気いっぱいに堂々と演技するかわいらしい姿を、会場へ詰め掛けた多くの観客はほほ笑みながら温かく見守っていました。